

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トーマス（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日		R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	20
○従業者評価実施期間	R8年2月1日		R8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	12
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職員(保育士・作業療法士・理学療法士)を配置しています	面談等を定期的に行い児童発達支援管理責任者と専門職が連携して個別支援計画を立案しています 発達段階に合わせた療育を行っています	お子様の発達状況に合わせスモールステップで課題を設定し、達成感を感じられるような療育プログラムを実施していきます
2	充実した療育プログラムを構築しています	スタッフの強みを活かした支援を行っています 例（リトミック、製作活動、運動療育等の集団活動） 療育内容の目的やねらいをスタッフ間で共有し実施しています 実施した療育内容の振り返りを定期的に行い、よりお子様に合わせた療育を実施できるよう工夫しています	職員会議を定期的に行い、行っている療育内容の精査や振り返り、改善点を全職員で確認している為、今後も継続して実施していきます
3	少人数のグループで活動を実施しています	未就学児から小学生まで年齢幅や発達段階の差が大きい為、活動場所やフロアを分け落ち着いた空間で療育ができるよう環境整備を行っています	安全に療育を行う上で十分な指導員数の確保や、児童の発達段階に合った環境を提供できるよう職員会議や日々の保護者との連絡の中で情報共有を行い検討していきます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者面談や担当者会議、関係機関訪問(幼稚園、保育園、学校等)に参加する職員が限定されている	保護者面談や担当者会議に対し、管理者や児童発達支援管理責任者が参加する役割を担っているとの固定概念が職員間にあり、参加に消極的な職員が多い	今後は一般職員も管理者や児童発達支援管理責任者に付き添い参加を促していく事で、保護者面談や担当者会議に対する固定概念を払拭していきます また、事業所外の生活環境を知り療育に活かしていく事ができるように取り組んでいきます
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トーマス (児童発達支援)

公表日 2026年3月16日

利用児童数 29

回収数 20

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	4		1	1階2階それぞれに広いスペースが確保されています	ご意見ありがとうございます。今後も環境整備に努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16			4	・保育の様子を見る機会がない為、わからない ・適切な職員数が配置されています。	利用児童の安全確保の為、職員配置には特に配慮しております。ご意見ありがとうございます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1		4	・バリアフリーかは、分からないが我が子には良いと思う ・各部屋が子どもが何をするか分かりやすく物が配置されています	様々なご意見ありがとうございます。利用児童にとって理解しやすく使いやすい環境の整備を日々行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	2		1	どの部屋もきれいで活動しやすくなっています	ご意見ありがとうございます。今後も環境整備や活動スペースの確保を行っていきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20				子ども一人一人十分に理解していただきそれぞれに応じた支援を頂いています	利用児童の発達特性を指導員間で共有し支援に反映しております。ご意見ありがとうございます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20				公表しているプログラムは、すべて支援内容と合っています	ご意見ありがとうございます。今後もプログラムに沿って療育を行いつつ様々な活動を行っていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				日々子どものことをよく見ていただいている上に保護者の要望もしっかりと聞いてくれます	個別支援計画の作成及び更新の際に懇談や話し合いの場を設け、よりご家庭のニーズや利用児童に合った計画作成に努めております。ご意見ありがとうございます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20				全てがガイドライン通りに設定されたおり、具体的な支援内容についても設定されています	支援方法や日々の困り感を共有する機会を個別支援計画更新の際に定期的に設けております。今後ともご協力お願いいたします。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20				計画書の内容に沿って、毎回支援をいただいています	計画書に沿った支援ができるよう指導員間で情報の共有を日々行っております。ご意見ありがとうございます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20				毎回違った様々なプログラムを提供していただいています	今後も子どもたちに楽しんでいただけるよう工夫していきます。ご意見ありがとうございます。
保護者への説明等	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	10	4	1	5	そのような内容があるかどうかは家族としては把握してません	公園や児童館で他のこどもと交流する機会がございます。その際には連絡帳や送迎時にお伝えいたします。ご意見ありがとうございます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20				一つ一つ丁寧に説明していただきました	丁寧な説明を心がけております。ご意見ありがとうございます。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19			1	その都度計画書を見ながら丁寧に説明をしていただいています	計画内容にご納得いただけるよう丁寧な説明に努めております。ご意見ありがとうございます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	2	7	家族に対しても親切に丁寧に助言して頂いています	なかなか研修会などは開催はできておりませんが、懇談等で今後もお話等行っていきます。ご意見ありがとうございます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20				連絡帳や電話、メール、送迎時などに状況を細かく伝えあうことができている	連絡帳を通して利用児童の成長や最近の様子を知ることができております。日々ご記入いただきありがとうございます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	1			定期的に面談があるほかにその都度相談をさせていただき助言をいただいています	個別支援計画の作成及び更新の際に懇談をさせていただいております。ご協力ありがとうございます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20				いつも相談事にも共感していただき支援していただいています	事業所としてアドバイスできることがあれば都度お伝えしております。ご意見ありがとうございます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	3	2	4	クリスマス会や夏祭り等保護者同士、兄弟同士の交流の場となる行事が開催されています	今年もお祭りやクリスマス会にご参加いただきありがとうございます。各ご家庭のご協力があり実施ができております。ありがとうございます。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	1			相談についてその都度職員の方や管理者の方が対応してくださっています	迅速な対応を心がけております。ご意見ありがとうございます。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1			十分な配慮がなされています	今後もスムーズな情報伝達ができるよう工夫していきます。ご意見ありがとうございます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16		3	1	定期的にブログで細かく発信されています	ブログを通して日々の療育内容を発信しております。ご意見ありがとうございます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20				個人情報に関する説明もされ、ブログでは個人の顔写真は隠す等留意されています	十分に留意し扱っております。ご意見ありがとうございます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	3			各マニュアルは周知されており、定期的に訓練も行われています	定期的に保護者様へお伝えをし、訓練を行っています。ご意見ありがとうございます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	2		2	様々な訓練を定期的に行われています	定期的に訓練を実施しております。ご意見ありがとうございます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1			十分に安全を確保して支援していただいています	計画の周知、安全確保を十分に配慮し支援を行っています。ご意見ありがとうございます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20				何かあった際にはすぐに連絡をいただき対応していただいています	事故が起きた際には迅速な対応、連絡を行っています。ご意見ありがとうございます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				全ての職員さんを信頼し安心して通っています	安心して通えるよう努めております。ご意見ありがとうございます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20				毎回の通所の日は「楽しみ！」と言って通っています	利用児童の楽しみの一つとなるよう事業所運営を行っています。沢山の有難いご意見ありがとうございます。今後も楽しんで通って頂けるよう運営して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20				通い始めてからずっと手厚く支援していただき大変満足しております	沢山の貴重なご意見ありがとうございます。今後も満足して頂けるようサービスを提供して参りますので、何卒よろしく願い申し上げます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 トーマス（児童発達支援）

公表日 2026年3月16日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12		2階の方が年齢が小さい事もあり、多めにスタッフの配置をしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		順番待ちの際、使わない玩具などは目に入らないようパーテーションなどを設置するなどの工夫を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	12			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12		事業所で行っているこども会議や、毎日のミーティングで共有出来ていてとても良いと思う。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12		フォーマルは少ないが、インフォーマルで補っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	1		個別にはあまり出来ていない様を感じる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12		朝礼を通して行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12		終礼を通して行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	12			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	11	1	今年(は)就学前の支援者会議など多く行うことができた。	
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	12			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	2	積極的に児童館や図書館へ行く活動を午前中に取り入れている。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	5		・家族向けの案内はしていない。 ・あまりない。 ・必要があれば行えると思います。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	12			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	2		あまりない。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	1		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	12			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	2	現在、医師の指示書を提出されるほどの対象児童が所属していないが、所属している時には児童のアレルギー表を作成し、対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	12			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トーマス（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	R8年2月1日		R8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	R8年2月1日		R8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職員(保育士・作業療法士・理学療法士)を配置しています	面談等を定期的に行い児童発達支援管理責任者と専門職が連携して個別支援計画を立案しています 発達段階に合わせた療育を行っています	お子様の発達状況に合わせスモールステップで課題を設定し、達成感を感じられるような療育プログラムを実施していきます
2	充実した療育プログラムを構築しています	スタッフの強みを活かした支援を行っています 例（リトミック、製作活動、運動療育、グループワーク等の集団活動） 療育内容の目的やねらいをスタッフ間で共有し実施しています 実施した療育内容の振り返りを定期的に行い、よりお子様に合わせた療育を実施できるよう工夫しています	職員会議を定期的に行い、行っている療育内容の精査や振り返り、改善点を全職員で確認している為、今後も継続して実施していきます 個別目標を全体共有し、児童の目標に合った療育が実施できるようシステム作りをしていきます
3	少人数のグループで活動を実施しています	未就学児から小学生まで年齢幅や発達段階の差が大きい為、活動場所やフロアを分け落ち着いた空間で療育ができるよう環境整備を行っています	安全に療育を行う上で十分な指導員数の確保や、児童の発達段階に合った環境を提供できるよう職員会議や日々の保護者との連絡の中で情報共有を行い検討していきます

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者面談や担当者会議、関係機関訪問(幼稚園、保育園、学校等)に参加する職員が限定されている	保護者面談や担当者会議に対し、管理者や児童発達支援管理責任者が参加する役割を担っているとの固定概念が職員間にあり、参加に消極的な職員が多い	今後は一般職員も管理者や児童発達支援管理責任者に付き添い参加を促していく事で、保護者面談や担当者会議に対する固定概念を払拭していきます また、事業所外の生活環境を知り療育に活かしていく事ができるように取り組んでいきます
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トーマス（放課後等デイサービス）

公表日 2026年3月16日

利用児童数 16

回収数 9

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	8	1				
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1		2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9				工夫した活動内容ですごいと思います。ありがとうございます。	いつもトーマスの運営にご理解、ご協力ありがとうございます。今後も様々な活動等行っていきますので宜しくお願い致します。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	1	1	2	5		公園活動や外出活動などを通して地域の子どもたちと交流し社会性や公共のルールを学べるように活動を行っております。今後も連絡帳やブログを通して発信していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3		2	4		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	9					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	1				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	3	2	兄弟はおりません。	夏祭りやクリスマス会にご参加いただいた皆様ありがとうございます。今後も様々なイベントを考えていきます。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	2			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	1			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1		1	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	1			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		トーマス (放課後等デイサービス)				公表日	2026年3月16日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12		順番待ちの印がある。 1人1人持ち物を入れる場所が分かれている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	12		活動に合わせた空間になっていると思います。	ですが、今後は今以上に整理整頓する必要があると思います。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	12				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか。	12		より子どもの目標設定や振り返りをする為の会議を一つ増やしたことにより、昨年より改善していると思う。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		面談やアンケート、アセスメントシートを用いている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	12				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12		それぞれの職員が把握できているかはわかりませんが、共有できる体制です。	知らない職員もいると思う。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12		フォーマルな評価はやや少ないが、インフォーマルで補われていると思う。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		1		学習は個別で取り組んでいるが、運動などの活動は個別活動できていない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	12			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	12			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	12			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	12			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	11	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12		送迎や面談、ノートなどで対応。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		12		あまりないと思いますが、必要に応じて行っていると思います。 家族向けの研修はなかった。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	12			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12		アンケートや面談などで保護者の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	10	2		あまり開催はない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	12			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	12			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	12			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		12		現在対象児童がない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	12				